

提出日：令和 3年 2月 21日
所属：獣医学部 獣医 学科
氏名：山下 匡 職位：教授

I ティーチング・ポートフォリオ

1. 教育の責任（教育活動の範囲）				
科目名	学科・専攻	必, 選, 自	配当年次	受講者数
獣医学特論 II	獣医学科	必	5	5
獣医学特論 I	獣医学科	必	4	5
卒業論文	獣医学科	必	6	5
獣医生化学 II	獣医学科	必	2	207
獣医生化学 I	獣医学科	必	1	179
獣医生化学実習	獣医学科	必	2	144

2. 教育の理念（育てたい学生像, あり方, 信念）
1. で説明した教育面での責任を基にしながら自分の教育理念に基づいて自分の教育アプローチについてまとめる。（自分の教育アプローチの説明：なぜやっているのか, 自らの信念, 価値, 目指すもの）
建学の精神を尊重し、ものの見方や考え方の基礎を身に付けることに重点を置いた教育を行うことによって、自己の哲学（倫理観・人生観・世界観・真理の探究）を備え持って、世のため人のために尽くすことのできる人材の育成に力を注ぐことを理念とする。

3. 教育の方法（理念を実現するための考え方, 方法）
教育の目的と目標（これまでの教育経験においていつも行っていること。重要視していること。自分の教育を特徴づける方法）
自主、自立、及び共同の精神、規範意識、公正な判断力並びに公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養い、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する能力を身につける。

アクティブラーニングについての取組

事前予習、復習の奨励と授業の最後に質問タイムを設定する。また、授業終了後にもなるべく学生からの疑問にはその場で対応する。

ICTの教育への活用

講義1週間前までにpdfファイルの配布、課題の設定と提出

4. 教育方法の改善の取組（授業改善の活動）

①教育（授業、実習）の創意工夫（A）

特に要点を強調した講義をする。実習ではビデオの作成とそれを用いた事前学習を行う。

②学生の理解度の把握（B）

課題を設定し、理解度を把握する

③学生の自学自習を促すための工夫（A）

1週間前までの教材配布と予習を課す

④学生とのコミュニケーション（質問への対応等）（B）

授業の最後に一定時間を質問とその回答時間に当てる。

⑤双方向授業への工夫（B）

授業の最後に一定時間を質問とその回答時間に当てる。

※A（十分実施している）B（実施しているが十分でない）C（うまく取り組めていない）

⑥国家試験対策としてどのような取組をしましたか。

国家試験に出題された項目を洗い出し、その都度授業の中で指摘し、注意を促す。

5. 学生授業評価

①授業評価の結果をどのように授業に反映させましたか。

指摘事項を次年度の講義に生かした。

② ①の結果はどうでしたか。

指摘が少なくなった。

③ ②を踏まえて次年度はどのように取組みますか。

現状維持する。

6. 学生の学修成果

① 学生の成績向上に資する取組を何か考えていますか。

授業時間中に重要な箇所とそうでない箇所を明確に提示する。

②教育活動によって得られた学生の成果及び学生・第三者からの評価

7. 指導力向上のための取組（FD研究会参加状況）

ウェブ上の録画を視聴した

8. 今後の目標（理念の実現に向かう今後のマイルストーン）

短期的目標：初心を忘れずに、学び続ける人材を育成する。

長期的目標：本当の教養（知識の多さだけでなく、物事を俯瞰して観る力、深く考える力、物事を様々な面から捉えられる豊かな心、他者の立場を理解して行動する思いやりの心を備えた教養）を身に付けた国際人の育成

9. 添付資料（根拠資料）（※）資料名のみ